

KANEKA TECHNO RESEARCH



RESEARCH & ANALYSIS

KANEKA

材 料 分 析



高分子材料分析

- ①合成樹脂製品の組成分析・分子量・分岐度分析
- ②合成樹脂製品の添加剤分析・異物分析・金属分析
- ③高分子構造解析 形態観察・モルフォロジー

電子材料分析

- ①表面・局所分析 元素・状態分布、
デプスプロファイル
- ②極微量成分分析・異物分析・金属分析



ファインケミカル分析

- ①ファインケミカルの構造解析
- ②ファインケミカルの不純物分析
- ③特殊材料の微細構造解析

その他の分析

- ①シックハウス関連分析 無機・燃焼ガスの分析
- ②化成品、金属材料、石油製品等の分析
- ③天然物、食品等の分析
- ④微小・微量異物分析・金属分析

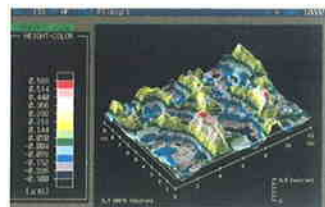


極限を読み解き、産業の進化を支える

新素材や新製品の開発、材料に関するトラブル処理、工程管理、品質保証、さらには微量物質が影響するシックハウス症候群関連分析、有害物質使用規制に関するグリーン調達関連分析、ナノテクノロジー分析などのあらゆる分析課題に対して、最新鋭の高性能機器群を駆使しながら高感度・高精度の分析が達成できるのは、豊富な経験に裏打ちされた分析技術者のスキルに他なりません。当社では数多くのノウハウを基盤に、産業の明日を創る技術を支援する強力なブレン集団として、迅速・確実に顧客の皆様の問題解決に当たります。

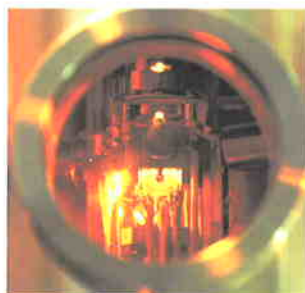
材料の形態観察

材料の表面や内面・断面などの微細構造を、いかに正確に把握するか。当社はこの課題に、原子配列までも明らかにする最新鋭の「電子の眼」で対応しています。電子顕微鏡・原子間力顕微鏡などがナノオーダーの観察を可能とし、表面の凹凸などを視覚的に鳥瞰図で表現したり、数値化することもできます。



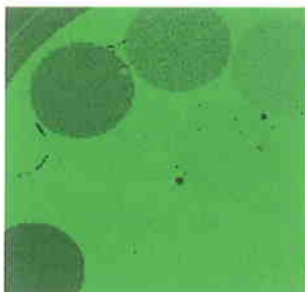
材料の構造解析

高分子・有機化合物の構造解析・成分分析においても、当社ではひとつの分析結果に満足することなく、「マルチの眼」を駆使して総合的にデータを解析します。高分解能GC/MS・LC/MS・600MHz高分解能NMRなどの装置と高いレベルの解析力により、極微量成分分析が可能で、各種有機無機材料・高分子・医薬原料・食品など、幅広い素材を対象に的確な情報を提供します。



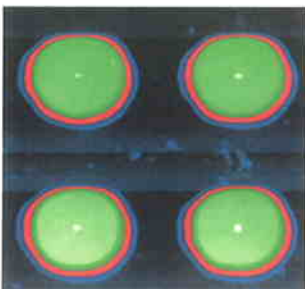
材料の元素分析

高分子、金属、半導体、セラミックスなど、これらの材料を構成する元素の分析はあらゆるテクノロジーの基礎を支えるものです。また、日々の衣食住に関連する生活用品・材料・食品・医薬原料などに含まれる微量成分・微量元素の分析は、私たちにとって重要な情報となります。当社では、元素組成やpptレベルの高感度分析を各種金属分析装置・クロマトグラフィーなどを駆使して取得できます。

A screenshot of an elemental analysis software interface. It displays a periodic table with various elements highlighted in red and yellow, indicating detected or analyzed elements. The interface includes a search bar and several control buttons at the bottom.

材料の表面分析

各種デバイスの性能を左右する極表面の世界には、「マイクロの眼」が注がれています。当社では電子材料・機能性高分子材料などの極表面に存在する元素や元素結合状態を分析し、二次元・三次元の元素分布・状態分布分析をナノメートルからサブミクロンまでのレベルで解析します。また、X線光電子分光法などによる表面分析法で、技術開発・現象解明の支援も可能です。



環境分析



環境大気・排ガスの分析

焼却炉、ボイラー、製造プラントの排ガス、
悪臭、煤塵、粉塵、環境大気、
室内環境濃度(シックハウス)の分析

水質分析

排水、海域・湖沼・河川水、
地下水、飲料水等の分析



騒音・振動作業環境測定

機械騒音、交通騒音、環境騒音等の測定
粉塵、特化物、有機溶剤、金属、物理環境等の測定

土壌分析

土壌、海域・湖沼・河川底質等の分析



一般廃棄物・産業廃棄物の分析

ごみ質、ごみ焼却灰、汚泥、廃油、
シュレッダーダスト等の分析

高度な測定技術で、 環境の保全と改善に貢献する

環境をめぐるさまざまな問題は、社会的な関心の高まりとともに年々増大しています。

それに伴い環境分析の分野でも、より一層の多様性と精密さが求められています。

当社ではデータの精度管理、品質管理のシステムを整え、

高性能の測定機器と高度な分析技術を駆使して確かな環境測定データを提供することで、

新しい環境装置やプロセスの開発や環境の維持管理を支援します。



ダイオキシン類、残留性有機汚染物質 (POPs)など極微量有害物質の分析

人体や環境への影響が心配される極微量有害物質の分析は、当社の得意とする領域です。高分解能GC/MSによるダイオキシン類(塩素系、臭素系)、PCB、臭素系難燃剤、多環芳香族炭化水素(PAH)及び有機塩素系農薬(POPs農薬等)などの極微量分析を行います。また、生物細胞を用いるバイオアッセイ(DR-CALUX法)によるダイオキシン類の簡易迅速分析も行います。



有害重金属など微量金属分析

有害重金属などの微量分析にも当社の技術蓄積をご活用ください。当社は最新のICP-AES、ICP-MSなどの分析機器を駆使してごみ焼却灰、産業廃棄物、排水、土壌、環境水などの金属含有量分析、国内法のみならず諸外国の法規にもとづく金属溶出量分析など幅広い領域を対象に正確な分析データを提供します。



有害有機化合物の分析

各種VOCなどの有害大気汚染物質や室内空気汚染化学物質及び、水環境中汚染物質の環境基準の強化が求められています。また、土壌汚染対策法での特定有害物質や農薬、環境ホルモン類についても調査情報が求められています。この領域でもさまざまな基準に精通したスタッフが複合的な視点から分析にあたります。



熱分解挙動とその生成物の分析

循環型社会形成推進基本法にもとづく各種リサイクル法の制定を契機に、各種プラスチック製品の加熱・燃焼時の発生ガス分析の管理に関心が高まっています。当社はこの分野で各種の分析要望に幅広く応え、さらに廃棄物や汚染土壌の加熱無害化・修復などの多種多様な加熱分解テストの実施と生成物分析にも対応いたします。



調査



コンサルティング

- ①環境技術コンサルティング
- ②新材料開発コンサルティング

調査

- ①特許調査・解析 ②技術調査・解析
- ③市場、企業調査・解析

情報サービス

- ①情報検索代行サービス
- ②翻訳サービス



情報をとらえ、 情報を活かす技術を提供する

情報を制する者が事業を制する時代。当社ならではの技術力、ネットワーク力、人材力を駆使して情報を調査・提供し、情報の活用方法を幅広くご提案しています。時代のニーズに応じて、ITによる情報システム構築などもすべてサポート。お客様の問題解決をお手伝いするプレーンとして、機密厳守を第一に、求められる情報価値を創造し、その領域はますます広がっています。

ノウハウを活かしたコンサルティング

●環境技術コンサルティング

国内外の環境技術に関する調査・企画コンサルティングをご提供。公的機関へのコンサルティングなど、長年培われた環境技術・環境分析に関する豊富な実績でお客様をサポートします。

●新材料開発コンサルティング

最新の技術に精通した専門技術者がコンサルティング。食品からバイオまで、さまざまな分野での新材料開発に対応します。

すばやく確実な調査・情報提供

●特許調査・解析

独自の豊富な経験にもとづき、国内外の特許や実用新案を正確に調査・解析。特許の侵害や抵触を細やかにチェックし、異議申し立てのための資料収集を行います。また、新たに公開される・登録される特許のウォッチングサービスもご提供します。

●技術調査・解析

国内外の各種データベースを活用し、最新の技術情報をスピーディに収集。さらにその情報を総合的に解析・評価し、レポートとしてお届けします。

●市場・企業調査・解析

独自の情報ネットワークによって構築された、豊富なデータベースを活用。国内外の市場・企業情報を的確にリサーチし、報告書を作成します。

専門技術・知識を駆使した情報サービス

●情報検索代行サービス

専任サーチャーが国内外のデータベースにアクセス。プロの目で信頼性の高い情報を選び、ご提供します。

●翻訳サービス

高度な外国語専門知識を持ったスタッフが担当。さまざまな翻訳ノウハウを駆使して、品質・納期・ご予算のニーズに対応します。



高度な分析技術を支える機器群

材料分析							分析装置	環境分析							
元素分析	形態観察	表面分析	構造解析	分離分析	分子重量測定	熱分析		前処理	悪臭分析	大気排ガス	水質分析	土壌・産廃分析	極微量有害物質分析	作業環境測定	アスベスト
●								有機元素分析装置				●			
●								全有機体炭素分析装置	TOC		●				
●				●				イオンクロマトグラフ	IC	●	●	●			
●								原子吸光分析装置	AA	●	●	●			
								水銀分析計		●	●	●		●	
●								誘導結合プラズマ原子発光分光分析装置	ICP-AES	●	●	●		●	
●								誘導結合プラズマ質量分析装置	ICP-MS						
●								波長分散型蛍光X線分析装置	WDX-XRF				●		
●								エネルギー分散型X線分析装置	EDX-XRF				●	●	
								X線回折装置	XRD						●
								X線小角散乱装置	SAXS						●
	●							透過型電子顕微鏡	TEM						●
●	●							分析電子顕微鏡	AEM						●
●	●							走査型電子顕微鏡	SEM-EPMA						●
●	●							低真空走査型電子顕微鏡	LVSEM-EPMA						●
	●							電子線三次元粗さ解析装置	3D-SEM						
	●	●						原子間力顕微鏡	AFM						
	●							デジタル顕微鏡							
	●						●	位相差顕微鏡						●	●
	●							収束イオンビーム加工観察装置	FIB						
●	●							X線光電子分光分析装置	XPS						
●	●							二次イオン質量分析装置	SIMS						
								紫外可視分光分析装置	UV-VIS	●	●	●	●	●	
								フーリエ変換赤外分光分析装置	FT-IR						
								顕微レーザーラマン分光分析装置	RAMAN						
								600MHz核磁気共鳴分析装置	NMR						
								液体クロマトグラフ-核磁気共鳴分析装置	LC-NMR						
								ガスクロマトグラフ	GC	●	●			●	
								可搬式ガスクロマトグラフ		●					
								ガスクロマトグラフ-質量分析装置	GC-MS	●	●	●		●	
								高分解能ガスクロマトグラフ-質量分析装置	HRGC-HRMS	●	●	●		●	
●								二重収束質量分析装置	MS						
								熱分解ガスクロマトグラフ-質量分析装置	Pyro-GC-MS						
								加熱脱着ガスクロマトグラフ-質量分析装置	ATD-GC-MS	●	●				
								ヘッドスペースガスクロマトグラフ-質量分析装置	HS-GC-MS		●				
								高速液体クロマトグラフ	HPLC	●	●			●	
								液体クロマトグラフ-質量分析装置	LC-MS	●	●	●		●	
								キャピラリー電気泳動装置	HPCE						
								ゲル浸透クロマトグラフ	GPC		●	●			
								高温ゲル浸透クロマトグラフ	高温GPC						
								GPC-多角度レーザー光散乱検出装置	GPC-MALLS						
								示差走査熱量分析装置	DSC				●		
								熱重量示差熱分析装置	TG-DTA				●		
								熱機械分析装置	TMA						
								熱量計(カロリーメーター)					●		
								熱重量-質量分析装置	TG-MS				●		
								熱重量・ガスクロマトグラフ-質量分析装置	TG-GC-MS				●		
								溶存酸素計			●				
								NOx自動計測装置		●					
								SOx自動計測装置		●					
								CO、CO2自動計測装置		●					
								THC自動計測装置		●					
								O2自動計測装置		●					
								騒音・振動測定装置							●
								全有機ハロゲン分析装置		●	●	●	●		
●							●	マイクロエーブ加熱分解装置					●	●	
●							●	プレッシャークッカー試験装置	PCT						
							●	チャンバー法放散試験分析装置(20L)							
							●	チャンバー法放散試験分析装置(2m³)							
							●	作業環境測定サンプリング・分析装置						●	
							●	加熱発生ガス採取/分析装置					●		
							●	排ガス、大気サンプリング・分析装置		●		●			
								大気VOC計		●					

機密厳守を第一に、 信頼性の高いデータを迅速にお届けします。

■ご利用方法

1

まず、お電話かE-mailでお問い合わせください。

どのような問題でも、お気軽にお問い合わせください。
ご相談させていただきます。

材料分析に関するお問い合わせ

材料分析営業グループ

TEL 078-574-1502
FAX 078-576-6788
E-mail:zairyo@ktr.co.jp

環境分析に関するお問い合わせ

環境分析営業グループ

TEL 078-574-1501
FAX 078-576-6788
E-mail:kankyo@ktr.co.jp

調査・コンサルティングに関するお問い合わせ

調査部

TEL 078-574-1506
FAX 078-576-6788
E-mail:chosa@ktr.co.jp

その他のお問い合わせ

東京営業所

E-mail:info@ktr.co.jp
TEL 03-5297-5201
FAX 03-3256-7860
E-mail:tokyo@ktr.co.jp

ホームページでもお問い合わせを受け付けております。
HP <http://www.ktr.co.jp>

2

ご依頼内容についての見積書を作成します。

ご依頼内容についての納期、費用などをお見積りさせていただきます。

3

試料と依頼書をお送りください。

見積書内容についてご承諾いただければ試料と依頼書をお送りください。

4

受託業務終了後、報告書を作成いたします。

受託業務が終了いたしましたら、すみやかに報告書を作成させていただきます。報告内容についてのお問い合わせにも懇切・丁寧に説明させていただきます。

※受託内容の秘密保持には細心の注意を払っております。
また、特にご要望の場合は、秘密保持契約を締結させていただきます。

■会社概要

●名称

株式会社カネカテクノロジー
KANEKA TECHNO RESEARCH CO.,LTD.

●設立

昭和63(1988年)年8月

●資本金

2,000万円

●株主

株式会社 カネカ

■所在地

●本社

〒652-0803 神戸市兵庫区大開通1-1-1

神鉄ビル6F

TEL 078-574-1500(代表)

FAX 078-576-6788

E-mail gyomu@ktr.co.jp

材料分析営業グループ

TEL 078-574-1502

環境分析営業グループ

TEL 078-574-1501

調査部

TEL 078-574-1506

●東京営業所

〒101-0037 東京都千代田区神田

西福田町4-1 MEDIXビル6F

TEL 03-5297-5201

FAX 03-3256-7860

E-mail tokyo@ktr.co.jp

●材料分析部 材料分析センター

〒566-0072 大阪府摂津市鳥飼西5-1-1

TEL 072-653-8300

FAX 072-653-8304

●環境分析部 環境分析センター

〒676-8688 兵庫県高砂市高砂町宮前町1-8
第1グループ

TEL 079-445-2315

FAX 079-445-2314

第2グループ

TEL 079-445-2581

FAX 079-445-2582

分析の詳細が分かる、オンラインで相談できる。
カネカテクノロジーのホームページをご覧ください。

<http://www.ktr.co.jp/>

材料分析、環境分析、
調査について、
それぞれの業務の詳細を
写真やデータで解説。

新たな分析装置の情報や
事業活動など、
最新ニュースも
アップデート。

オンライン窓口より、
分析・調査の相談、
資料請求も受付。

分析見積依頼書・
分析依頼書の
ダウンロードをご用意。



株式会社 カネカテクノロジー

〒652-0803 神戸市兵庫区大開通1-1-1神鉄ビル6F
TEL 078-574-1500(代表) FAX 078-576-6788

URL <http://www.ktr.co.jp/>